

令和7年度 第4回 京田辺市立図書館協議会 会議要旨

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 京田辺市立図書館サービスアクションプラン（素案）について （事務局）

前回の協議会から内容を大幅に修正した部分の説明を行った。

今回の素案で完成形とし、修正後に令和8年1月にパブリックコメントを募集し、今年度中に「京田辺市立図書館サービスアクションプラン」を策定したい。また、この決定したものを元に蔵書計画の作成を予定している。

（委員）

非常に読みやすくなったと思う。

気になる箇所が3点ある。

1点目は、成果指標のこと、2点目は、魅力あるコレクション構築の部分が全体的の比率として弱くなっていると思う。

3点目は、人が必要だという話にする時に、この書き順だと人が必要とあまり見えない。なんの人が必要なんだ、何のために必要なのかというのを書き込まないと弱くなる気はする。

それと、最初に図書館とはみたいな記載があっても良いかと思う。

図書館というのは基礎学力や様々な社会生活、さらにはレクリエーション等の活動について欠かせないような組織である。そのためには、蔵書構築し、それらを集めていかなければいけない。などの内容の記載が最初に必要かと思う。この内容では、魅力ある蔵書構成というものが伝わりにくい。

蔵書回転が良いというものが魅力に繋がっていくという記載が必要で、新しい本を選書して、毎年約1万冊を購入し、全体の30分の1ぐらいが切り替わっている状況である。

郷土資料、児童書についても記載が少ないかと思う。

また、調べ学習についての記載も必要である。

今ある利用者に加えて調べ学習という、今は来てない人々を呼び寄せるためには、その滞在型の話と調べ学習の話というものが両方とも必要である。

選書や分析には人が必要で、専門的な人が必要であるという話に結びつく。

成果指標の3つ目は、無理だと思う。

実際問題として、市民1人当たりの貸出冊数を目指すよりは、図書館に来られる人の数を増やした方が良い。

(委員)

滞在型の図書館が今は盛んに言われるが、みなさんは、どのようなイメージを持っておられますか。

(委員)

私は、今の京田辺市の図書館に満足している。

(委員)

今の状況が維持されているというのを書くのも一つあると思う。

どんどんと変わって良くなるということよりも、居心地が良いと思って来られる人が増えた方が、実はトータルとしての評価は高い。

(委員)

2点気になる箇所がある。

1点目は、3ページの使命の「資料と場所の提供を通して、市民の生活を豊かにする」の資料という表現は一般的ではないので、「本と場所の提供を通して、市民の生活を豊かにする」の方が分かりやすいのでは。

2点目は、現状やっていることももっと書けば良い。そして、さらに充実することを書けば良いと思う。

例えば、19ページの他の施設との連携に移動図書館のことを書けば良い。

こういう所に出張していることや団体貸出しをしていることなど。

京田辺らしさというものをもっと書いて良いと考える。

(委員)

3ページの資料は、本よりは、図書館資料という表現が良いかも。

(委員)

このアクションプランは、市民の方にどのような形で発信されるのか。

(事務局)

市や図書館のホームページで見られるようにする予定。

先日、市民まつりに移動図書館を持って行ったところ、反響が大きく P R が出来た。

(委員)

移動図書館のアピール力は大きい。

(委員)

図書館内に設置した給水器のことも記載した方が良い。

(2) 第3次京田辺市子ども読書活動推進計画(案)について

担当課より、前回からの修正箇所を説明。

各委員より、意見を出された。

(3) その他

次回会議 2月26日(木) 15時00分から中央図書館集会室